

～洪水や土砂災害から住民の命を守るために～
平成29年度 市町風水害版図上訓練の実施

逃げ遅れゼロに向けた取組

平成29年8月10日

洪水や土砂災害から“逃げ遅れによる人的被害をなくすこと”を目的に、市町の防災担当者を対象として、実践的なロールプレイング方式による市町風水害版図上訓練を実施しました。



プレイヤー(演習者)

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町



コントローラー(統制)

静岡河川事務所、静岡地方气象台、静岡土木事務所、
島田土木事務所、県危機対策課、中部危機管理局



リエゾン(連絡員)

陸上自衛隊第34普通科連隊

【訓練の想定】

台風が東海地方に上陸して、土砂災害が発生するとともに、普通河川や二級河川が氾濫し、一級河川大井川の堤防が決壊する。

市町の防災担当者の皆さんには、与えられた気象情報や河川の水位情報、消防団等からの現場情報を基に、避難勧告等の発令、陸上自衛隊のリエゾン(連絡者)と連携した住民、要配慮者の救助・救援などの災害対応を体験してもらいました。

○ 訓練の主な成果

- ・“情報読解力”や“災害対応力”のスキルアップ
- ・風水害時における市町と国や県との“連携イメージ”の形成
- ・市町と関係機関との“顔の見える関係づくり”の構築